

令和6年度 鹿児島県の実組の経過と今後の予定

鹿児島県特別支援教育研究会

会長 内 園 博之

1 研修・研究活動の計画

期日	活動名
令和6年8月6日(火)7日(水)	夏季研修会
令和6年10月23日(水)	県特別支援教育研究大会 肝属大会
令和7年1月6日(月)	冬季研修会

2 活動の概要

(1) 夏季研修会

講師	阿部 利彦 先生(星槎大学 教授) 上條 大志先生(小田原市教育委員会) 一木 薫先生(福岡教育大学 教授)	参加人数	1400 名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	「多様な幼児・児童・生徒の理解と支援」(阿部 利彦 先生) 「つながりをつくる10のしかけ」「教育のUD化を実現する3つのcan」(上條 大志先生) 「自立活動の理念と指導の考え方」「知的障害のある子どもの教育課程と教科の授業設計」(一木 薫先生)		
概要	2日間の研修を通し、各講師より、自己決定や自己理解を尊重した指導の在り方や授業UDやUDLの理念と具体的な実践内容、知的障害学級で授業を行う上での教科教育の進め方等について学ぶことができた。特別支援教育の基礎から応用的な内容まで、幅広く学びを深めることができた。		

(2) 県特別支援教育研究大会 肝属大会

講師	中島 健太郎先生(鹿児島純心女子短期大学 こども学専攻 准教授)	参加人数	120 名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	「特別支援学級・特別支援学校・通常の学級の学級運営で大切にしてきたこと」		
概要	各校の特色ある日々の取組や授業実践について、分科会を通して情報交換することができた。中学校の分科会では、進路指導に係る関係機関との連携について、各校の現状を語り合うことができた。互いに特別支援教育に関する理解を深めるよい機会となった。		

(3) 冬季研修会

講師	海江田 宏 先生(鹿児島県立武岡台特別支援学校) 原 博章 先生、井手 順二 先生、川田 真帆 先生(始良市立重富小学校)	参加人数	190名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	「児童生徒の自立と社会参加を目指した特別支援教育」 海江田 宏 先生 「個に応じた支援により、学力を高める学習指導のあり方」 原 博章 先生、井手 順二 先生、川田 真帆 先生		
概要	特別支援学校の進路指導担当として活躍される海江田先生の講義では、特別支援学校児童生徒の進学・進路先及び進路指導について知見を広げることができた。後半の3人の先生の講義では、児童に提示している教材教具の説明を交えながら勤務校での実践を発表していただいた。		

3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

- ・ リモート研修を積極的に導入することにより、多くの参加者が参加することができた。
- ・ LINE WORKS 上で事務局員同士の連携を図ることで、効率的かつ円滑な運営に努めることができた。
- ・ 冬季研修会の参加費を無料にしたことで、参加のハードルを下げるすることができた。
- ・ ホームページで大会の情報を発信したり参加の呼び掛けを行ったりすることで、多くの参加者を募ることができた。

(2) 今後の課題

- ・ リモート研修時の不具合の対応
- オンライン参加者が多く、今後も増えることが予想される。トラブル発生時の対応を業者に委託できないか検討している。